

北 建 第 1463 号

平成 20 年 10 月 8 日

国土交通省道路局長 様

北茨城市長 豊田 稔



今後の道路行政についての意見・提案の提出について(回答)

道路行政につきましては、日頃より格別のご理解、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます
標記の件について依頼がありましたが、別紙のとおり回答いたします。

今後の道路行政についての意見・提案

① 道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

現在の道路事業の多くは、大都市集中型や都市間連絡網等や都市への通勤圏内道路などの道路改良工事が主体である。それらから外れた地方は取り残され旧態以前の道路が多く産業の発展などにも、大きな影響を与えており益々地域格差をおこしていると思われる。地域によっては主要道路が無かったり、有っても単路線であり慢性的な交通渋滞に悩まされている。また災害等の時には道路が路が被災し通行不能となった場合などは、ライフラインに支障を来し当然ながら二次災害の発生が懸念される。また、橋梁の長寿命計画に代表されるように、道路施設の維持管理に非常に苦慮しているのが地方の実態であり、新設・改良事業ばかりでなく維持補修事業にも、交付金等の利用拡大を図る必要がある。

よって真に必要とされる地方道路の行政に積極的に取組んで安心・安全な道路を早急に造るべきである。

今後の道路行政についての意見・提案

②-1 地域の現状を抱える課題

○ 現状

当市の道路網は、海岸線を走る国道6号と山間部を走る主要地方道路日立いわき線が、当市を横断する重要な道路であるが国道6号は、いわき市から日立市にかけては国道に代わる迂回路が乏しく慢性的な交通渋滞を起こしている。また、主要地方道路日立いわき線は山間部を通るため道路改良工事が遅れ屈曲や急坂が多く大型車の通行には不向きな道路であり、物資の輸送には国道を頼るほかに無い状態であり周辺住民は、交通環境の悪化の中で危険に晒されながら生活しているのが現状である。

○ 課題

国道6号線のバイパス化の促進、又はバイパスに変わる地方道路の促進を図り交通環境の整備が最重要な課題である。

今後の道路行政についての意見・提案

②-2 地域の目指すべき将来像

近隣市町村と連携の取れた道路網の整備により、産業や観光の交流を図り就業人口の増加及び定着と、住みよい住宅環境の都市づくりをして地域発展を目指す。

今後の道路行政についての意見・提案

③ 道路施策の重要事項(代表事例、期待する効果や評価等)

地方では人口の流出等により過疎化が進み地域は勿論のこと、自治体存続にも危機的な状況の中にある所もある。人口の減少に歯止めをかけ地域の活性化を図るためには、まず若者の流出を防ぐ必要がある。そのためには産業等の就業人口需要の拡大を図る等の施策が求められる。これらを進めるためにも道路網の整備を促進して企業の進出や観光資源の開発を可能にすると共に、地方で働ける環境作りが大切である。